

充実したキャリア教育を実施

単位制の成果

60回生以降、東京での企業・施設訪問と他の地方(60回生は東北、61回生は北海道、62回生は沖縄、63回生は東北の予定)での自然体験を組み合わせた、県下でも珍しい形態の修学旅行を導入しています。

自然体験では、大自然の雄大さに触れながら兵庫県ではなかなか体験で

2年次10月 修学旅行



憧れの東京大学にて



OBの方々による講演会

きないアウトドアアクティビティに参加することにより、仲間との協調性と自主性を養っています。一方、東京では、東京大学や筑波大学、国立環境研究所、動物衛生研究所、土木研究所などの最先端の研究施設、及び、外務省・日本テレビ・証券取引所・日銀・検察庁・など、日本の政財界をリードする機関・企業、

職業ガイダンスセミナー講師協力者募集!

現役生に職業人のプロとして話して下さる方を募集しています。1人でも多くの方に登録をお願いします。

連絡先: 姫路東高等学校 総務部 井上恒まで

TEL: 079-285-1166(代)

FAX: 079-285-1167

計約30か所を、進路希望によって分かれた少人数の班で訪問することで、更に深く「進路探究」をし、「達成への努力」に繋げていけるよう、進路への関心を具体化させます。

平成20年度62回生の修学旅行では、東京で活躍する東高32回の大西好宣氏(国連プログラムオフィサー)と10回の島田宗洋氏(救世軍清瀬病院院長)に講演をお願いし、貴重なお話を伺いました。

印象に残る行事は?

修学旅行での企業訪問です。実際に現場を訪れることができたのは、大きな収穫でした。

外務省を訪問したときには、姫路出身の方がさまざまなお話を下さりました。国際会議の議長席や発言者席に座ってお話を聞き、記者会見場も見せていただき、外務省が身近に感じられました。私は通訳などに漠然とあこがれていましたが、今回の訪問で将来の目標が明確になり、進路選択の大きなきっかけになったと思います。

修学旅行の感想は? 初め、修学旅行と言え

生徒会長に聞く 藤本のどかさん(62回生)

東高が進めている「キャリア教育」について、実際に経験した生徒会長の藤本のどかさん(2年次)に話を聞きました。

ば娛樂的なイメージがあり、堅苦しい行事は嫌でしたが、他校の修学旅行ではできない貴重な体験をすることができ、大変満足しています。

ガイダンス合宿について

今まで知らなかったり興味なかったりした仕事について、幅広くいろんな職種について知ることができて良かったです。ガイダンスセミナーの感想は?

実際に働いていないと分からない辛いことや大変なことについて、とても参考になりました。

最後に一言

このような行事を体験するまでは、進学率や就職率といった数字のみで学校選びをしていましたが、「大学」の次の進路まで考えて大学・学部選択ができるという点でとても良い経験ができたと思います。私も友人も、みんな満足しています。